



市内の中学生 10人と引率者3人で結成されたトロイ市派遣団が、8月2日から9日まで本市の国際姉妹都市（平成2年に国際姉妹都市縁組を締結）のアメリカ合衆国オハイオ州トロイ市を訪問しました。生徒たちはホームステイしながら、トロイ市でのさまざまなイベントを体験。言葉が通じないながらも、積極的にコミュニケーションを図り、大きな自信とホストファミリーとの友情と共に帰国しました。

■問い合わせ 高梁市国際交流協議会事務局（秘書政策課内 ☎210208）

トロイ市派遣団の皆さん（敬称略）

| | |
|-------|------------|
| 田中道彦 | （高梁東中学校長） |
| 宮崎奈々 | （高梁中学校3年） |
| 川上陽理 | （高梁中学校2年） |
| 川上莉奈 | （高梁中学校3年） |
| 細川雄哉 | （高梁東中学校3年） |
| 川上遥南 | （川上中学校3年） |
| 三宅葉 | （川上中学校3年） |
| 山本璃瑠 | （川上中学校3年） |
| 江草なな子 | （備中学校3年） |
| 藤森咲弥 | （備中学校3年） |
| 井上真行 | （備中学校2年） |

引率

| | |
|------|-----------|
| 田原栄子 | （高梁中学校教諭） |
| 西川優子 | （秘書政策課） |



トロイ市街の風景

「トロイ派遣に参加した」
高梁東中学校 田中道彦校長

私が一番印象深く感じていることはトロイ市の人々の「おもてなしの心」です。8月2日の出迎えでは真夜中といえる時間に「Welcome」のプラカードを掲げ、8日には搭乗ゲートへの最後の移動まで大きく手を振りながら見送ってくれたトロイ市長をはじめ市の関係者、ホストファミリーの皆さん。それだけではありません。どのホストファミリーも、遠い異国からトロイ市を訪れてくれたお客様を歓迎しようという気持ちで一杯でした。

アメリカやトロイ市の自然や歴史、スポーツ、生活を少しでも理解してもらうための活動プログラムを用意して下さり、エアフォースミュージアム、ライト兄弟博物館、メジャーリーグ観戦、温水プール、大型ショッピングセンターでの買い物、カヌー



1体験、自然公園や夜の市内散策など生徒の趣味に合わせて、いろいろな所へ連れて行ってくださいました。

心遣いを感じられたのは、英語のしゃべり方と聞き方です。英語が得意な生徒も、授業の中で使う英語と現地の英会話ではやはりギャップがあり、戸惑いがちでした。しかし、ホストファミリーの皆さんや生徒とかわりを持ってとうとしてくれていた人々は、我慢強く聞いて下さり、発音がうまく言えない単語もしっかりと受け止め、発音を直してくれながら、うまく話せると「グッド」とほめてくれる。話すときは生徒の表情を見ながら、分かりやすい単語を選び、ゆっくりと丁寧に話してくれ。そんな心遣いで生徒たちは、アメリカの人たちとの会話が成立することに、だんだんと自信を深め、滞在4日目には笑顔で身振りも加え、表情豊かに自分なりの表現ができるようになっていました。いずれにしても生徒たちは、国際交流を堅く考えず、「おもてなしの心」、「心遣い」、「相手を大事にする心」さえあれば、気持ちを通じ、心と心、絆が深まっていくことを実感できたのではないのでしょうか。

9日午後11時頃高梁市役所に帰着し、多くの皆様の出迎えを受けました。「無事交流の大役をこなし、たった8日間でしたが生徒たちは成長して帰ってきました。トロイ市に派遣

くださいました国際交流協議会、高梁市、保護者の皆様、ありがとうございました」とあいさつを終えると、期せずして生徒たちからも大きな声で「ありがとうございます」の言葉が出てきました。この言葉は、生徒たちの心の底からほとばしる感謝の言葉です。これが言えた生徒たちは、この貴重な体験を必ず10年後、20年後に役立ててくれるものと確信しています。

「国際交流」
川上中学校3年 三宅 葉さん

今回のホームステイで私が驚いたことは、アメリカの人は寝るのが遅いということ、日が沈むのが遅く、9時くらいまで外が明るいことです。私たちは10時から11時に寝ることが当たり前ですが、アメリカでは、2時から3時に寝るのが普通の時間です。びっくりしました。その分、朝起きるのが遅いので納得はできませんでした。自分の心と体を成長させたいと考え



ているのであれば、早く寝た方が良いと思います。

二つ目の、日が沈むが遅いことをホストファミリーに聞くと、緯度が高いからだと言っていました。外を見ると、まだ明るいので、時間を確認すると、もう8時や9時でした。私は目が飛び出るほどびっくりして、何回も見ましたが、時間が変わらないうので不思議に思いました。最後の日まで続きました。

最後にこの体験であらためて自分の英語の発音や授業の受け方の甘さに気づかされました。いつも英語の時間に、英語で質問すると通じるのに、アメリカに行くとなんか分かってもらえなくて大変でした。高梁の代表としてアメリカに行き、生の英語を肌で感じる事ができたので、外国人っぽい話し方、発音に近付けるように頑張りたいと思います。私にとって一生の宝物となったので、来年ホームステイにアメリカの方が来られたら、笑顔で帰ってもらえるように、日本の文化や良い所、有名な所に連れて行ってあげたいです。本当にありがとうございました。

「トロイ市での国際交流で感じたこと」
高梁中学校2年 川上陽理さん

ホストファミリーと過ごした時間は、私にとって大切なものになりました。

した。お姉さんの誕生日には、親せきの人たちが集まって、みんなで料理や飾りつけをしました。「ハッピーバースデー」が飛び交う素敵な誕生日会で、トロイの人たちは、自分の周りの人を本当に思っているのだなあと感じました。

初めは言葉が伝わらず、とても不安で、あと何日かで日本に帰れると自分に言い聞かせていました。しかし、ホストファミリーの温かさで、私の緊張が和らぎ、だんだんとあと何日かでトロイ市とお別れだということがいよいよ受け入れられました。

お別れの時に「あなたが家に来てくれて、とても楽しかった」とステイ先のお父さんが言ってくれました。それを聞いて、トロイ市に来て本当に良かった、また会いに来たいと強く思ったので、このつながりをこれからの生活の上でも大切にしていきたいです。